

「自立活動」(コグトレ)学習指導案 ～GIGA タブレット端末を使った学習～

府立和泉支援学校

T 1 糸川 美和子

T 2 岩崎 陽子

1. 日時 令和4年12月9日(金) 第1時限(9:30～9:50)

2. 場所 高等部棟1F 第2窯業教室

3. 学部・学年・組 高等部 第3学年 6名

4. 題材名 GIGA タブレット端末を使った プリント学習

5. 題材目標

- ・ 自立活動の一環の中で、それぞれの認知機能の弱点を補い、得意分野を伸ばす。

6. 指導項目・内容(6区分 27 項目より選定)

- ・ 健康の保持①生活のリズムや生活習慣の形成
- ・ 人間関係の形成④集団への参加の基礎
- ・ 環境の把握⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成

7. 児童生徒観

毎朝の自立活動の時間に、ランニング、ウォーキング、認知面の学習と、3グループに分かれて学習を行っている。その中で、このグループは、月水金はコグトレのプリント学習を、火木は、コグトレ棒を使って身体的なトレーニングを行っている。メンバーは各クラスから抽出された生徒たちで、ランニングやウォーキングよりも感情面のコントロールや聞く力、見る力などそれぞれに課題があると考えられた生徒である。実際、体調や心理面に不調があり、毎日登校できない生徒が多く、一律に課題を積み上げていくことが難しい。内1名は、コグトレの問題を読み解くことは難しく、また、体調面で朝からの活動になかなか積極的に参加できない。

8. 教材観

「一人1台 GIGA タブレット端末」 「google クラスルーム」

タブレットのメリットは大量のプリントを準備する必要が無く、保管がPC上ででき、進度の確認ができることである。

昨年度、認知面の学習プリントに取り組んだが、徐々に難しくなって、プリントが進まなくなり生徒の意欲が下がったため、『やさしいコグトレ 認知機能強化トレーニング(宮口幸治、三輪書店)』からプリントを準備した。1ページ単位で取り組みやすく(以前のプリントは、1ページに時間がかかって、教員の支援が無いと、20分の中で終わらないことがあった)生徒にとって達成感が得られやすい。一分野だけでなく、見る、聞く、想像する、をセットにして配布することにより、気分を変えて取り組むこともできる。

重度の生徒1名は、別アプリを使用しており、音が出ることが注意を惹き、取り組むことができている。10年前からある定番の「にほんごーひらがな」アプリであるが、少し早いリズムを持って学習することで脳が活性化し記憶力が活性化するといわれている(モジュール学習)を意識しているのか、文字学習に効果的で、GIGA タブレット端末でも現役で使われているアプリである。自分のやりたいところから始められ、難易度を変えることもできる。

ペンは導電性繊維のタッチペンを使用している。メリットとしては、タブレットとのペアリングの必要が無いため、教員と生徒が、違うペンで同時に書き込むことができる。ゴム製は、筆圧が強くて頭がつぶれた場合、タブレットの表面のガラスに傷をつける恐れがある。ペンと鉛筆の書き方の違いとして、画面から手のひらを浮かせる必要がある。指先の出る軍手で対応できるが、対象生徒の中には、軍手を必要とする生徒は居なかった。

9. 指導観

- ・自立活動の時間は短時間で毎朝（プリントの取り組みは週3回だが）あるため、取り組みやすく、経験を積み上げやすい。と同時に、不調による欠席が多い生徒も自分のペースで取り組むことができるため、皆より遅れている、おいつけないという意識を持たずに学習できる。最初は、手順の習得が難しいと思われたタブレット学習も、軌道に乗ってきている。特に毎回参加の生徒は見通しを持って取り組んでいる。卒業後事業所で仕事をするうえで、手順を守って一定の水準の作業を続ける能力をつけることができると思う。

- ・失敗したり、丁寧にしようと指摘を受けた時も、消しゴムを使わなくても、一瞬でやりなおせるので、チャレンジしやすい。拡大して表示できるので、書き込みたいところを狙って書くこともできる。綺麗に丁寧にプリントを仕上げることに自信を持たせやすく、集中力を持続して取り組む力をつけることができる。

- ・ペンを利用することにより、指よりも、紙に書いている感覚に近く、書くことができるので、紙ベースでの学習にもつなげやすい。

10. 単元の指導と評価の計画(毎週月、水、金)

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点
通 年	本 時	・やさしいコグトレプリント学習	・課題を、やりなおしも含めて、提出するところまで仕上げることをめざす。 ・自分の進捗を確認し、向上をめざす。	・それぞれの課題に、前向きに取り組めるよう、アドバイスをこなう。達成感を持ちやすいように PDF プリントは、1枚ずつにばらにして、配布する。
	本 時	・ひらがなアプリ	・学習に前向きに取り組む。得意な文字だけでなく、ほかの問題にもチャレンジする。	・ほかの問題にもチャレンジするよう水を向ける。意識がほかに向いているときは、アプリの音に注意を向けるよう、アプリの補助的な声掛けを行う。
	最 終 週	・やさしいコグトレプリント学習	・学習したプリントをプリントアウトしたものをファイルに綴閉じる。 ・学習の成果を振り返る。	・できるようになったことに目を向けさせる。 ・卒業後の職場でも仕事の算段に見通しを持って取り

				組むことの大切さを伝える。
	最終週	・ ひらがなアプリ	・ タブレット上で書けるようになった文字を印刷したものをファイルに綴じる。 ・ 学習の成果を振り返る。	・ できるようになったことに目を向けさせる。

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・ 自分で課題に取り組む。
- ・ 1枚できたら、教員に報告して、チェックを求める。
- ・ 一課題が完了したら、提出する。

(2) 本時で扱う教材・教具

- ・ やさしいコグトレ PDF ・ Google クラスルーム
- ・ にほんごーひらがなアプリ
- ・ タッチペン
- ・ GIGAiPad

(3) 児童生徒の実態と本時の目標

※省略※

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
1分 導入	・ あいさつ タブレットやペンの準備を各自でする。	・ 教員がタブレットを開けるパスワードを入れる。 生徒のログインは、毎回ログオフしていない。	自分の準備が、自分でできる。
14分 展開	課題プリントに取り組む 1枚できたら、教員に確認を求める。	赤ペンでチェックをし、訂正が必要な場合は、やり直しをさせる。 やり直しは、いったん保存した後は消せないなので、青ペンで行う。	次に進める判断ができる。 イライラせずに落ち着いて、やり直しができる。

		チェックが終わったら提出させる。	
5分 まとめ	終了 ふりかえり あいさつ	きりのよいところで、声をかけ、開いているアプリを閉じさせる。 今日の進度について振り返りを行い、良かった点や次回改めたい点を確認する。 タブレットのコネクタに電源コードを刺すのは、コネクタ部分の破損をふせぐため、教員が行う。	保存、終了ができる。 自分の進度を客観的に表現しようとしている。 タブレットを自分の棚に戻す。 ペンを返す。

(5) 教室配置等(正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す)

